

集う、創る、叶える、ふくしまで。



福島イノベーション機構

# 福島イノベーション・コースト構想推進機構の 取組について

2020年3月

公益財団法人 福島イノベーション・コースト構想推進機構

- 「福島イノベーション・コースト構想」は、東日本大震災および原子力災害によって失われた浜通り地域等の産業回復のために、新たな産業基盤の構築を目指す国家プロジェクト。
- 福島ロボットテストフィールド等の拠点整備を含めた主要プロジェクトの具体化に加え、産業集積の実現、教育・人材育成、生活環境の整備、交流人口の拡大等に向けた取組を進めている。

## 廃炉

- 福島第一原発の廃炉を加速するための国際的な廃炉研究開発拠点の整備
- モックアップ試験施設等を活用した機器・装置開発、実証試験



モックアップ試験施設



## ロボット

- 福島ロボットテストフィールド（世界に類をみない一大研究開発拠点）の整備
- 「World Robot Summit 2020」の一部競技を開催



福島ロボットテストフィールド



ドローンの試験飛行

## エネルギー

- 再生可能エネルギー等の新たなエネルギー関連産業の創出
- 再生可能エネルギーや水素エネルギーを地域で効率的に活用するスマートコミュニティを構築



福島水素エネルギー研究フィールド

スマートコミュニティ



## 農林水産

- 先進的な農林水産業を全国に先駆けて実践
- 農林水産分野における先端技術の開発・実用化の推進



生産性向上の取組（無人走行トラクター）



環境制御システムを取り入れたトマト栽培



## 産業集積

- 廃炉、ロボット、エネルギー等の分野の関連企業を誘致し、拠点と連携した新たな産業を集積。



進出企業

## 教育・人材育成

- 初等中等教育から高等教育に至るまで、構想を支える人材を幅広く育成。



研究機関の見学

## 生活環境整備

- 公共交通や買い物環境の整備、教育、医療・介護体制の充実など、生活環境の整備を推進。

## 交流人口拡大

- 来訪者を促進させるため、拠点を核とした交流人口の拡大に向けた取組を推進。

- 福島復興再生特別措置法に基づく「重点推進計画」（2018年4月25日 内閣総理大臣認定）において、福島イノベーション・コースト構想推進機構を本構想推進の主要な実施主体として位置付け、国家プロジェクトである本構想の具体化を推進。  
※2017年7月25日に機構設立、2018年4月より体制強化し事業を本格展開。（2020年3月現在：78名）
- 以下の5本柱に、2019年度は県からの受託・補助事業（約17億円）を中心にソフト面の取組を展開。

### 産業集積・ビジネスマッチング

- 浜通り地域等への**企業誘致**
- 進出企業と**地元企業とのマッチング**
- 企業の**新ビジネス立ち上げ支援**
- 民間企業等の**農業参入支援**



ふくしまらいビジネス交流会

### 交流人口の拡大

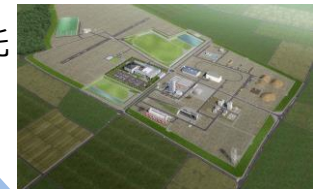
- 浜通り地域等の各拠点への**来訪者呼び込み**
- 交流人口拡大に向けた交通環境の改善



現地見学ツアー

### 拠点施設の管理運営

- 福島ロボットテストフィールドの運営受託
- 東日本大震災・原子力災害伝承館の運営受託を目指して活動
- 拠点の利活用について県内外にPR



福島ロボットテストフィールド

### 教育・人材育成

- 高校等での**産業界および研究機関等と連携した教育の実施支援**
- 市町村と連携した**大学等の教育・研究活動支援**



高等学校等におけるイノベーション人材育成

### 情報発信

- イノベ構想の**県民等への分かりやすい情報発信**
- 県外からの呼び込みに向けたイノベ構想の魅力を発信



イノベ見える化セミナー

- 県外企業等の浜通り地域等への企業立地を目的として、浜通り地域等の産業ポテンシャルや各種優遇制度等を紹介するセミナー、産業団地を巡る現地見学ツアーを実施。
- 新たなビジネスパートナー等の獲得を目的として、進出企業と地元企業とのビジネスマッチング（交流会）を開催し、浜通り地域等への企業立地を促進。
- 先端技術や新たな農林水産業の情報等を得られる体験型展示会を開催し、浜通り地域等での農林水産業の成長産業化を推進。

#### <企業誘致関連> 【】内は参加者

##### ○企業立地セミナー

2018年度 東京・名古屋・大阪で開催【約510名】  
 2019年度 10/31 東京【146社223名】、11/26 名古屋【87社113名】、  
 2/6 大阪【124社173名】

##### ○現地見学ツアー ※以下のほか、企業毎の個別視察も実施【2019年度:12企業・団体 35名】

2018年度 3回開催（1泊2日）【21社34名】  
 2019年度 5/21~22【8社10名参加】、1/14~15【12社18名参加】

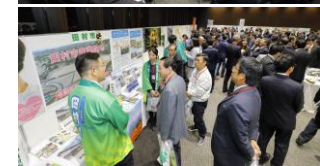
##### ○ふくしまみらいビジネス交流会

2018年度 2回開催【131企業・団体 約220名】  
 2019年度 11/19 いわき市【58企業・団体 約110名】、  
 1/28南相馬市【120企業・団体 約260名】

#### <農林水産業関連> 【】内は参加者

##### ○先端農林水産技術体験フェア

2018年度 林業、農業フェアの2回開催【約520名】  
 2019年度 8/4 水産業フェア（相馬市）【約180名】、11/29 農業・畜産フェア（飯舘村）【約320名】



企業立地セミナーの様子  
（2019/10/31東京）



産業団地の視察の様子  
（2019/5/22川内町）



先端林業  
技術体験フェア  
（2018/9 川内村）



先端水産業  
技術体験フェア  
（2019/8相馬市）



スマート農業・畜産業  
技術体験フェア  
（2019/11飯舘村）

### 3. 機構の取組 ①産業集積・ビジネスマッチング ～関係機関・企業との連携～

- 関係機関・企業と緊密に連携し、地元企業の参画、域外企業の誘致等を効果・効率的に進めていく。
  - ✓ 2018年10月3日、福島相双復興推進機構（相双機構）と連携協定を締結。
  - ✓ 2019年5月24日、東邦銀行と連携協定を締結。

#### <相双機構との連携協定締結式 (2018/10/3) >



#### <ビジネス交流会>

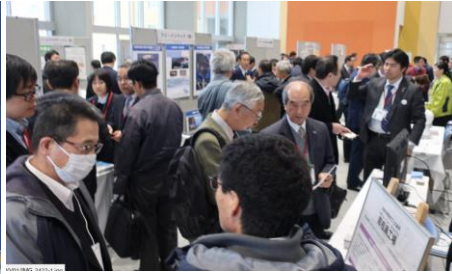
- ・イノベ機構と相双機構が連携したイベント（両機構が主催）。
  - ・新規立地や研究開発等を計画・実施している企業が講演、ブースを設置し、来場した地元企業との商談等を実施。
- 2019/11/19 いわきラトブ  
講演：4企業、来場：58企業・団体/約110名
- 2020/1/18 福島ロボットテストフィールド  
出展：23企業・団体（講演：8企業・団体）、  
来場：115企業・団体/約240名



登壇企業と地元企業との商談



参加企業同士の名刺交換



23企業・団体が  
出展したブース

8企業・団体に  
よる講演



## ● 福島みらいビジネス交流会 in 浪江 (2018/11/15)

### イームズロボティクス株式会社

本社・福島工場(福島市) / 浜通り開発センター(南相馬市)

#### 事業(生産)概要

測量サーベイ用機体、災害救急用機体、インフラ点検用機体など多用途にわたる農林水産・産業・防災・医療・研究向けの自律モビリティの開発・製造・販売を行います。



### LEシステム株式会社

本社(福岡県久留米市) / ※浪江町に進出予定

#### 事業(生産)概要

LEシステムの独自技術を用いたバナジウムレドックスフロー電池用電解液の量産化に取り組みます。



### フォーアールエナジー株式会社

本社(横浜市) / 浪江事業所(浪江町)

#### 事業(生産)概要

リチウムイオンバッテリー(LIB)システムの開発、製造、販売を行うほか、車載用LIBの二次利用における製造・販売も行っています。



### 福島SiC応用技研株式会社

本社・橋業工場(橋業町)

#### 事業(生産)概要

SiC®半導体を用いた製品の製造販売を行っています。半導体デバイスなどの汎用品から、医療用中性子線照射システムのような高付加価値製品に至るまで、革新的なSiCパワーエレクトロニクス技術を駆使した製品を様々な形態でお届けします。

※SiC(シリコンカーバイド)はシリコン(Si)と炭素(C)で構成される化合物半導体材料です。Siの境界を越える次世代パワーデバイス材料として期待されています。

高耐圧SiC-SBD (VRRM:20kV)

医療用中性子線照射システム



## ● 福島みらいビジネス交流会 in Jヴィレッジ (2019/2/26)

### 株式会社 エヌビーエス

楡葉町に進出予定 / 本社(東京都台東区)

#### 事業(生産)概要

主に建築用の強化ガラス・合わせガラス・複層ガラスを製造する会社で、東京スカイツリーの展望台やあべのハルカスにも使用されています。楡葉町に、最大1.2m×3mのガラスを製造することが可能な、国内最大規模の加工工場を2019年10月から操業開始の予定です。



### 株式会社 右川ゴム製造所

南相馬市に進出予定 / 本社(埼玉県八潮市)

#### 事業(生産)概要

自動車・OA・建材・土木などあらゆる産業分野や、人工筋肉・次世代自動車等のゴム部品開発にも取り組んでおります。創業以来、120年に渡って培ってきた、配合技術や生産技術を活かしたゴム製品を、さらに多くのお客様にお届けすべく、南相馬市下太田工業団地に新工場を建設します。2020年4月操業開始を予定しています。



### 株式会社 タジマモーターコーポレーション

いわき市に進出予定 / 本社(東京都中野区)

#### 事業(生産)概要

小型モビリティを中心に電気自動車の開発および量産化を進めていきたいと思っています。いわき工場は、電気自動車の組立工程を担う工場として稼働する予定です。



### ミツフジ 株式会社

川俣町にて立地・操業 / 本社(京都府精華町)

#### 事業(生産)概要

京都の西陣織工場で創業し63年目を迎えた繊維業伝統の技術と、着るだけで生体情報を取得できる医療用電極付シャツにより、遠隔モニタリング等で医療機関と連携するシステムを開発しています。高齢者や健康な方の予防医療の展開により、安心と安全をお届けするサービスを展開します。



## ● 福島みらいビジネス交流会 in いわき (2019/11/19)

### 株式会社金子製作所 工場(いわき市) / 本社(埼玉県さいたま市)

医療用機器部品の切削加工や、細かい部品の製造について、コスト・品質で優れた地元企業様を探しております。ともに品質にこだわり、安全・安心・信頼に応えられるものづくりに取り組んでいただきたいと思います。



### 矢野口自工株式会社 工場(楡葉町) / 本社(東京都大田区)

浜通りを中心に、サクシヨン・高圧ホース等の部材調達、鋼板曲げ加工、座席シート張り加工、車両のラッピング等にご協力いただける地元企業様を探しております。また大型車検整備、車両・金属塗装、各種プラントのメンテナンス清掃、焼却炉ダスト・粉粒体吸引回収、高圧水による管路清掃などを承りたいと考えております。



### 株式会社ニツチュー いわき市に進出予定 / 本社(東京都台東区)

新工場での機械製造にあたり、設計(機械設計、電気設計)、機械製作及び組立、機械修理の経験豊富なパートナー企業のほか、製造品を全国に配送するための運送会社などを探しております。また、福島県内の地域の企業様を中心に、プラストの請負加工なども承りたいと考えております。



### ロボコム・アンド・エフエイコム株式会社 南相馬市に進出予定 / 本社(東京都港区)

新工場が必要となる、ロボットシステム部品のアルマイト加工やメッキ等の表面処理、制御盤加工及び組立、定盤等の平面研削、システムの設計におけるソフトウェア製作などをお願いできる企業様を探しております。また、導入する3Dプリンターを活用した金属・プラスチック製品の試作なども承っております。



#### <事業化支援>

- これまで2016~2019年度の「地域復興実用化開発等促進事業費補助金」に採択された約110社※を対象に訪問等を行い、個々の事業者が抱えている課題解決のための支援を実施中。※2020年2月末現在

- 市場調査、技術面での課題解決や販路開拓に向けたマッチング、販売戦略の策定、資金調達に向けたアドバイスなど、課題に応じて、具体的な支援を実施。

→実用化になった案件：14件、  
事業化になった案件：24社

事業化を目指す企業に対する  
コンサルティング支援の様子  
(2019/1/17)



#### <知財戦略支援> ※2019年度開始

- 事業化支援により、知財課題等を把握した事業者に対し、弁理士による専門的支援を実施。

- 保護知財の把握が未了、特許取得を考えている等の「基礎支援」、既に取得検討が進み、競合他社の保護知財状況等を把握したい等の「事業化支援」を実施。

・基礎支援：11社、事業化支援：10社

→うち、特許出願：3社、商標出願：3社

(いずれも予定含む)

#### <廃炉関連産業のマッチング可能性調査>

※2019年度開始

- ニーズ側とシーズ側をつなぐ全体的なマッチングスキームを構築し、地元企業が廃炉関連産業に参入するための事業化可能性調査を実施中。

##### ➢ トライアルマッチング会

- ・調査事業の一環として、試行的に元請希望企業と下請希望企業（地元企業）間のマッチング会を実施。

<第1回> 2019/12/2 富岡町文化交流センター学びの森  
テーマ：1F構内で使用される廃棄物保管用コンテナ（角形容器）製造

参加企業：元請希望4社、下請希望15社

<第2回> 2020/2/14 浪江町地域スポーツセンター  
テーマ：1F廃炉業務で使用される電源盤・分電盤、PF管バンド・サポート、フランジカバー

参加企業：元請1社、下請希望14社



仕様等説明の様子  
(2019/12/2)



個別商談の様子  
(2019/12/2)

- 企業・大学等教育機関の研修、会議（MICE）等の需要開拓に向けて、コンシェルジュを配置し、重点分野の拠点施設や進出企業等の視察モデルルートの試行を実施。
- 拠点（点）を線・面で結ぶべく、拠点間および地域内の交通手段の確保に向けて、バスやカーシェアリングの実証を実施。

#### <来訪拡大に向けた視察>

○「福島イノベーション・コースト構想」の拠点施設と地域の視察ツアー（モデルツアー）

2018年度 4回開催【53名参加】

2019年度 4回開催【69名参加】

- ・先端農業視察コース、リスクマネジメント研修コース、再エネ先駆けの地ふくしま視察コース、廃炉・ロボット産業視察コース



視察ツアーの様子  
(2019/12/19・20)

#### <来訪時の利便性向上>

○カーシェアリング「はまモビ」の実証（日産）

- ・2018年12月18日より順次、4ステーションを設置。

浪江駅前  
大熊町役場前 > 2020/3/19終了

※小高駅前  
富岡駅前 > 2019/12/15終了

浪江駅前ステーション



○バス実証（福島交通・新常磐交通）【終了】

- ・東西アクセスの改善に向けて、3往復/日のバス運行。  
(2019/3/8～11/22平日のみ)  
郡山駅～環境創造センター(三春町)～富岡駅

○コンシェルジュによるオーダーメイド視察（2019/4～）

- ・プログラムづくりや日程調整等を支援【受付45件】※2020年2月末現在



視察ツアーの様子  
(2018/12/10  
オーダーメイド視察の案内  
榎葉遠隔技術開発センター)



- 陸・海・空のロボットの研究開発や操縦訓練等を行う**福島ロボットテストフィールド**(約50ha)を南相馬市および浪江町に整備中。2018年7月の通信塔を皮切りに、試験用プラント、滑走路(南相馬)、研究棟、瓦礫・土砂崩落フィールド、試験用トンネル、市街地フィールドなど、21施設のうち16施設がオープン。2020年春、全面オープン予定。
- 複合災害の記録と教訓を収集・保存するとともに、調査・研究し、展示・研修を行う情報発信拠点「**東日本大震災・原子力災害伝承館**」を双葉町に整備中。2020年夏頃オープン予定。
- 機構では、福島ロボットテストフィールドの指定管理を2019年4月より受託。東日本大震災・原子力災害伝承館の指定管理の受託に向けた準備、体制整備を実施中。

#### <福島ロボットテストフィールド>



緩衝ネット付飛行場



市街地  
フィールド  
試験用  
プラント



#### <東日本大震災・原子力災害伝承館>

<外観イメージ> ※2020年夏頃オープン予定



<展示室全体イメージ>



<館内イメージ>



#### ● World Robot Summit 2020

- ・世界のロボットの叡智を集めて開催する競演会を愛知県国際展示場（2020年10月8～11日）で開催。
- ・うち、インフラ・災害対応カテゴリーの競技を福島ロボットテストフィールド（2020年8月20～22日）で実施。



- 中核となる研究棟の「研究室」には、全国から16の大学や企業等が入居。さらに、6室の入居者を公募中（2020年5月8日締切、7月以降入居開始）。
- 福島県ハイテクプラザ南相馬技術支援センターも入居し、技術相談・設備使用（加工機器、分析機器等）・試験分析など、企業に寄り添った支援を行う。



#### <研究室 入居者>

事業者名	本社所在地	研究開発対象
会津大学	福島県会津若松市	災害対応ロボット
国立研究開発法人海上・港湾・航空技術研究所	東京都三鷹市	航空機位置探知システム
特定非営利活動法人国際レスキューシステム研究機構	兵庫県神戸市	インフラ・災害対応ロボット競技手法
(株)人機一体	滋賀県草津市	建設機械ロボット
新明工業(株)	愛知県豊田市	災害対応ロボット車両
(株)SkyDrive	東京都新宿区	空飛ぶクルマ
(株)タジマモーターコーポレーション	東京都中野区	自動走行、EV
テトラ・アビエーション(株)	東京都文京区	空飛ぶクルマ
(株)テラ・ラボ	愛知県春日井市	固定翼ドローン
(株)デンソー	愛知県刈谷市	橋梁点検ドローン
東北大学未来科学技術共同研究センター	宮城県仙台市	自動走行、EV
一般社団法人ふくしま総合災害対応訓練機構	福島県南相馬市	総合災害対応訓練、災害対応ロボットの实用化
富士コンピュータ(株)	兵庫県加古川市	ロボット向けAI
(株)プロドローン	愛知県名古屋市	大型ドローン
ロボコム・アンド・エフエイコム(株)	東京都港区	ロボットシステムパッケージ
(株)ロボテックス	神奈川県横浜市	水素燃料電池ドローン

#### <研究開発・実証試験など>

**RTFで**  
活用事例  
**167事例**  
(2017年9月～2020年2月)

**実証から集積へ**  
浜通り等への  
ロボ関連新規進出  
**49社・団体**  
(東日本大震災以降)

**すそ野広く地元へ波及**  
福島ロボットテストフィールド  
来訪者数  
**21,700名**  
(2018年7月～2020年2月)

### 3. 機構の取組 ④教育・人材育成（大学研究活動への支援）

- 浜通り地域等には大学等の高等教育機関が少ない中、震災後、県内外の様々な大学が自治体・企業・高校などと連携して実施する大学研究活動を積極的に支援。
- 復興に資する知を浜通り地域等に誘導・集積するため、浜通り地域等で市町村と協定を締結し、拠点を置きつつ教育研究活動を行う大学等を支援する取組（補助事業）を2018年度から新たに実施。2018年度は20件（1億4千万円）、2019年度は25件（3億2千万円）を採択。
- 2019年8月6日に「福島復興学ワークショップ」を実施し、採択事例をPR、研究者間の交流を促進。

**近畿大学** × **川俣町** 原子力研究人材、ものづくり、アグリビジネス、産業振興等

【“オール近大”川俣町復興支援プロジェクト】  
14学部48学科を擁する総合大学として、総力を挙げて川俣町早期復興を支援するために2012年に立ち上がったプロジェクト。再生・復興支援を2本の柱とし、一つの復興モデルとして浜通り市町村等に誘導・集積する。本事業では川俣町を主として、大学が有する福島復興に資する「知」を活用し、各種の教育・研究活動を展開する。



アンズリウムの栽培

**大阪大学** × **飯館村** 環境放射線に関する研修・研究等

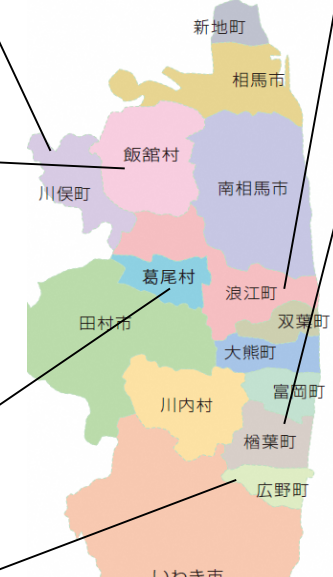
【飯館村環境放射線研修会】  
福島県飯館村において、環境放射線と関連する自然科学・人文社会学的な研修を行う。放射線に関する偏りのない幅広い科学的知識を得るとともに、その実態を正しく理解する機会を与え、社会リスク、心理等の多面的な議論を行う。研修を経た参加学生の中から将来福島県の復興に大きく関与していく人材が生まれることも期待される。

**日本大学** × **葛尾村** ドローン活用、環境回復、地域コミュニティの再生等

【住民と学生の協働による「ロハスピレッジかつらお」復興まちづくり】  
大学が掲げる「ロハス工学」に基づき、住民と学生との協働による健全で持続可能なまちづくりを目指す。その内容は①交流の場と社会インフラ、②グリーンインフラ、③ドローン技術からなり、これらの技術を統合した3Dマップと教育プログラムの構築及びこれらの利活用を図る。

**早稲田大学** × **広野町** まちづくり、風評問題、エネルギー、汚染水問題等

【早稲田大学ふくしま広野未来創造リサーチセンター事業】  
地域社会の抱える持続性課題を研究対象として、その解決を通じて地域に貢献することを目指す。多世代かつ多様なアクターの参画による「ふくしま学（楽）会」という知識創造の場を形成し、福島復興の具体的な提案づくりから実践まで行う体制を構築する社会イノベーションの創造等に取り組む。



ふくしま学（楽）会

**東京農業大学** × **浪江町** 農業の担い手育成、営農再開の支援等

【福島県浪江町における農業“新興”に向けた取り組み～担い手育成に向けて～】  
大学が有する産学官連携のネットワークを最大限に活用したコンソーシアムを形成し、浪江町の農業“新興”のコンセプトのもとで新規就農、六次産業化推進、スマート農業を含めた取組を未来の担い手人材候補である学生を中心に大学の“復興知”を活かして実施する。

**東京大学** × **楢葉町** 廃炉研究、放射線測定システムの開発等

【楢葉町を起点とした「復興知」の展開】  
①イノベーション人材の裾野拡大を目指した教育プログラム事業、②イノベーション・コースト構想の実現に向けた研究事業、③風評被害の払拭と農林水産業の復興のための事業を有機的に展開する。

<2019年度採択大学の活動地域>

	弘前大学	東北大学	福島大学	東京大学	東京工業大学	京都大学	大阪大学	長崎大学	会津大学	郡山女子大学	東日本大学	慶應義塾	早稲田大学	日本大学	東京農業大学	近畿大学	福島工業大学
新地町																	
相馬市																	
南相馬市		●	●	●					●								
飯館村			●	●			●										
川俣町																	
浪江町	●	●	●	●							●					●	
葛尾村		●	●							●	●						
田村市																	
双葉町			●								●						
大熊町			●			●					●						●
富岡町			●		●			●			●						
川内村			●								●						
楢葉町			●								●						●
広野町			●								●		●				●
いわき市			●								●						●

※上記取組を含め、浜通り地域等において18大学等25プログラムを実施。  
©2020 公益財団法人 福島イノベーション・コースト構想推進機構

## 「復興知」事業（重点枠）の採択（2019年10月より事業実施）

- 「復興知」事業に新たに「重点枠」を設け、浜通り地域等の市町村での教育研究活動の長期的継続・拡大、現地拠点の充実や拡大、大学等間や研究拠点と連携した教育研究活動の取り組み等を支援。
- 2019年度は3件（6千万円）を採択。

### 長崎大学 災害・被ばく医療科学分野の人材育成による知の交流拠点構築事業 補助金額1,600万円

#### 内容

長崎大学が復興推進拠点を設置している川内村、富岡町や大熊町において、福島県立医科大学や福島大学、東日本国際大学といった福島県下の大学、さらに国際放射線防護委員会や国際原子力機関といった国際機関と連携して世界中の災害・被ばく医療科学の専門家を育成する「復興知を学ぶ」知の交流拠点を浜通りに構築する。

#### 連携市町村

川内村、富岡町、大熊町

### 東京大学 福島復興知学の構築・展開・加速事業 補助金額2,400万円

#### 内容

東京大学内の7部局が協力して、復興知講義を開発し、教科書（副教材）を作成する。さらに、飯舘村と楢葉町に設置している東京大学の拠点を整備して学生フィードワークや学内共同研究の拠点とする。さらに、イノベーション・コースト構想の事業成果と大学の「多様な知」を紹介する施設として活用する。

#### 連携市町村

楢葉町、飯舘村

### 福島大学 福島発「復興知」の総合化による食と農の教育研究拠点の構築 補助金額2,000万円

#### 内容

本事業は福島大学が“扇の要”となり、全国の大学と連携し（復興農学有識者会議、復興農学研究会）、『復興知』として食と農の知見を体系化するとともに、被災地へと還元することで福島イノベーション・コースト構想や福島の復興に資する人材育成を行う。

#### 連携市町村

南相馬市、川内村、大熊町、飯舘村

- 〔高校〕ふたば未来学園高校がスーパーグローバルハイスクール（2015年度～）に、小高産業技術高校がスーパー・プロフェッショナルハイスクール（2017年度～）に指定。
- 地域の企業や研究機関・大学と連携した実践的な教育プログラムを開発し、2018年度から新たに高校8校で実施。高校教育における構想を牽引するトップリーダーと構想の即戦力となる専門人材を育成。2019年度は水産高校にも拡大。
- 〔小中学校〕構想の実現に貢献する人材育成の裾野を広げるため、小中学校段階からロボットや再エネ等の新産業を含めた地域理解を深める学習を展開。

#### トップリーダーの人材育成

磐城高校・相馬高校・原町高校

38回



福島再生可能エネルギー研究所FREAと連携した施設見学（原町高校）  
2018/08/08 実施



福島ロボットテストフィールドと連携した施設見学（相馬高校）  
2019/07/10 実施

#### 工業分野の人材育成

平工業高校・勿来工業高校・  
小高産業技術高校・川俣高校

67回



稲葉遠隔技術開発センターと連携した施設見学（平工業高校）  
2019/06/18 実施



ふくしま再生可能エネルギー産業フェア REIFふくしま 視察  
（勿来工業高校）  
2018/11/07実施

#### 農業分野の人材育成

磐城農業高校・相馬農業高校

48回



AI技術を利用した“美味しさの見える化”実習（相馬農業高校）  
2019/07/02実施

#### 水産分野の人材育成

いわき海星高校

15回



福島県水産資源研究所と連携した施設見学（いわき海星高校）  
2019/8/4実施

凡例：地元企業等の見学・実習、講演等の実施回数（2019年度）

- 福島イノベーション・コースト構想の認知度は十分でなく、構想の推進に向けて多様な主体の参画を促すためには、県内外で広く構想の取組を知ってもらうとともに、地域の方々を始め多くの方々に身近に感じてもらうことが重要。
- 機構は、企業や大学、研究機関等の構想への認知度・興味度を高め、構想への参画を促すため、戦略的かつ効果的に情報発信を行う。
- 昨年度に引き続き、福島イノベーション・コースト構想シンポジウムの開催、各イベントへの出展を行い、構想の周知、浸透を図る。

#### <福島イノベーション・コースト構想シンポジウム>

第4回福島イノベーション・コースト構想シンポジウム

日時：2020年2月15日 13:00~16:20

場所：小高生涯学習センター「浮舟文化会館」

来場者：約350名

##### ○講演

- ・株式会社SkyDrive 代表取締役 福澤知浩氏
- ・アイリスオーヤマ株式会社 代表取締役会長 大山健太郎氏

##### ○学生による活動報告

- ・東京農工大学 遠藤覚氏、磐佐まりな氏
- ・相馬農業高等学校 小野隼人氏、池田拓海氏、野地章吾氏

##### ○トークセッション「未来の生活を支える新技術～ロボット×農業～」

- ・銀座農園株式会社 代表取締役 飯村一樹氏
- ・白ハットグループ 農業DIVISION 副本部長 瀧澤芽衣氏
- ・福島大学 農学群食農学類 准教授 窪田陽介氏
- ・相馬農業高等学校 校長 中野幹夫氏



相馬農業高校による取組紹介



白ハットグループによる取組紹介  
(トークセッション)

#### <イベントでのブース出展（県外）>

- ・ロボティクス・メカトロニクス 講演会 2019 in Hiroshima（広島）2019/6/5~8
- ・G20イノベーション展（軽井沢）2019/6/14~16、G20大阪サミット（大阪）2019/6/28~29
- ・福島フェス（六本木）2019/11/16
- ・2019国際ロボット展（東京ビックサイト）2019/12/18~21
- ・ふくしま大交流フェスタ（東京国際フォーラム）2019/12/21

ふくしま大交流フェスタでの出展の様子（2019/12/21）



#### <出前講演>

- ・福島イノベーション・コースト構想推進企業協議会定例会（2018/11/19）
- ・福島経済同友会（2019/3/6）、会津経済研究会（2019/4/18）、郡山経済研究会（2019/7/17）
- ・産学官交流のつどい（2019/7/5）  
※福島県電子機械工業会、福島県中小企業団体中央会
- ・福島大学研究・地域連携成果報告会（2019/7/6）
- ・世界防災フォーラム（2019/11/12）



福島大学研究・地域連携成果報告会での基調講演の様子（2019/7/6）

- 地域の方々に広く構想の取組を知ってもらうとともに、身近に感じてもらうため、15市町村でのイベントにブースを出展、機構主催のセミナーを開催。

#### <見える化キャラバン（県内）> ※イベントでのブース出展（2019年度）

開催日	区域	イベント名	会場
※ 10/19(土) ～ 10/20(日)	南相馬市	おだか秋まつり	小高駅前通り
※ 10/19(土)	大熊町	大熊町ふるさとまつり	大熊町役場
※ 10/20(日)	川内村	かわうち祭り-秋の陣-	川内村ヘリポート
※ 10/22(火)	いわき市	いわき大交流フェスタ2019	21世紀の森
10/26(土) ～ 10/27(日)	川俣町	かわまたものづくり体験塾	川俣町中央公民館
10/26(土) ～ 10/27(日)	田村市	田村市船引地区文化祭	船引公民館
10/27(日)	飯館村	いいたて村秋祭り	飯館村交流センター
11/2(土) ～ 11/3(日)	広野町	ひろの秋まつり	広野町中央体育館
11/3(日)	葛尾村	かつらお感謝祭	みどりの里広場
※ 11/3(日)	相馬市	そうま市民まつり	スポーツアリーナそうま他
11/9(土)	楡葉町	ならSUNフェス	笑みふるタウンならは
11/9(土) ～ 11/10(日)	富岡町	富岡えびす講市	富岡第一小学校
11/23(土)	新地町	新地町復興産業まつり	新地町役場
11/23(土) ～ 11/24(日)	浪江町	復興なみえ町十日市祭	浪江町地域スポーツセンター
1/11(土) ～ 1/12(日)	双葉町	双葉町ガルマ市	復興公営住宅（勿来酒井団地）
2/16(日)	いわき市	いわき交流ひろば	平中央公園

※台風19号による被害等により中止



10/5 ふたばワールド2019



10/26～27 船引地区文化祭



11/9～10 富岡えびす講市

#### <見える化セミナー> ※機構主催のセミナー

2018年度 いわき市、相馬市、田村市で開催  
【参加：約300名】

2019年度 12/3葛尾村【参加：約130名】、  
12/19大熊町【参加：約120名】



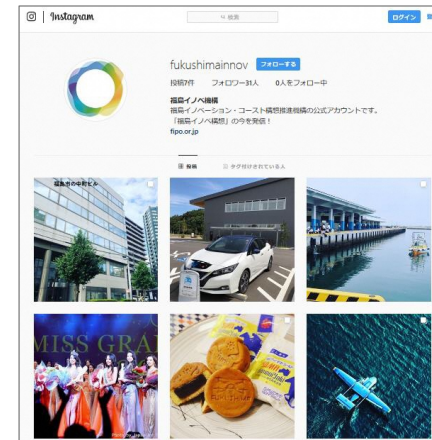
パネルディスカッション（2019/12/3）

- 福島イノベーション・コースト構想の認知度・理解度向上、構想への参画の促進に向け、これまでの取り組みや最新の情報を構想ポータルサイトにて発信。2020年2月にリニューアルし、企業情報や具体的な取組を充実。
- 2019年8月には、機構のSNSアカウント（Facebook, Instagram）を開設。

#### <構想のポータルサイト イメージ> <http://fipo.or.jp/>



#### <Instagram イメージ>



Facebook

<https://www.facebook.com/fukushimainnov/>

Instagram

<https://www.instagram.com/fukushimainnov/>

公式アカウント

福島イノベ機構 (@fukushimainnov)

#### 具体的な取組「教育・人材育成」



具体的な取組

<参考> Hama Tech Channel ※2020年2月3日オープン  
 県内出身の若者のUターン等の促進に向けて、浜通り地域を中心に「ヒト」「企業」にフォーカスを当てた情報をWEBやSNSでお届け。



ウェブサイトはこちら

<https://www.fipo.or.jp/htc/>





- 福島イノベーション・コースト構想推進機構は、  
2019年1月に公益財団法人となりました。

イノベーション機構では、みなさまからの  
寄附金を募集しています。

- ✓ 公益法人には、寄附した法人に対する税制優遇があります。
- ✓ 法人税について、資本金等の金額や所得金額に応じた一定の限度額まで、寄附金を損金に算入できます（法人税が減免）。
- ✓ また、公益法人に対する寄附は、一般寄附金の損金算入額とは別に、損金算入限度額が設けられています。

<損金算入限度額>

公益法人への寄附金額の  
特別損金算入限度額  
A : (所得金額の6.25% + 資本金等の額の0.375%) × 1/2



一般寄附金の損金算入限度額※  
B : (所得金額の2.5% +  
資本金等の額の0.25%) × 1/4

※Aの限度額を超えた分を含む

(例1) 資本金10億円、所得3億円の場合

A : 1,125万円、B : 250万円、合計1,375万円

(例2) 資本金1千万円、所得1.5千万円の場合

A : 48.75万円、B : 10万円 合計58.75万円

以上



公益財団法人  
福島イノベーション・コースト構想推進機構  
〒960-8043  
福島県福島市中町1-19 中町ビル6階

<お問合せ先>

Tel : 024-581-6894 (代表)

受付時間 9:00~17:00 (土日祝日・年末年始除く)

「福島イノベーション・コースト構想」のプロジェクトの状況や直近のトピックスを  
ご覧いただけます。

福島イノベ 検索

<http://fipo.or.jp/>

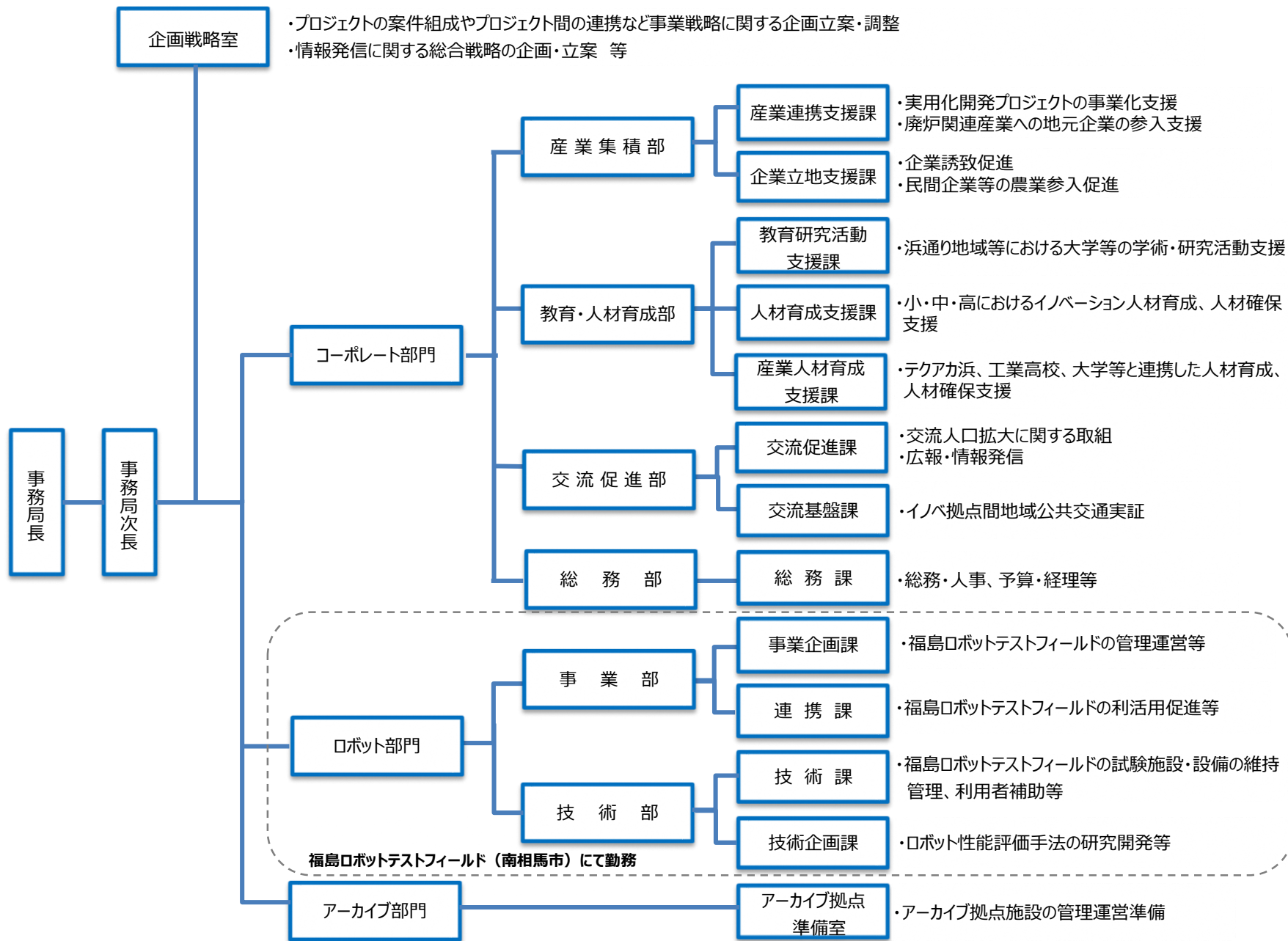


facebook



Instagram





# 参考. 機構の役員体制

- 県内外の大手企業の代表や有識者など、役員・評議員を選任、参与を新設し、2018年10月より役員等の体制も強化。2019年1月より公益財団法人へ移行。

## <理事長>

斎藤 保	(株) I H I 代表取締役会長
------	-------------------

## <理事>

伊藤正彦	(株) デンソー 経営役員
小沢喜仁	福島大学共生システム理工学類 教授
菅野孝志	J A福島五連 会長
楠本修二郎	(一社) 東の食の会 代表理事
阪本未来子	東日本旅客鉄道(株) 常務執行役員
鈴木真二	東京大学未来ビジョン研究センター 特任教授
鈴木正晃	福島県 副知事
立岡恒良	(公社) 福島相双復興推進機構 理事
田所諭	東北大学大学院情報科学研究科 教授
豊増俊一	日産自動車(株) フィロー
深澤秀樹	ふくしまNPOネットワークセンター 常務理事
皆川芳嗣	(株) 農林中金総合研究所 理事長
渡邊博美	福島県商工会議所連合会 会長

## <専務理事>

伊藤泰夫	(公財) 福島イノベーション・コースト構想推進機構 事務局長
------	--------------------------------

## <監事>

鈴木和郎	鈴木公認会計士事務所
古宮智宏	(株) 東邦銀行 常務執行役員営業本部長

## <評議員>

岡 隆一	会津大学 理事長兼学長
岡本繁樹	復興庁原子力災害復興班 企画官
笠原賢二	福島県経営者協会連合会 会長
轡田倉治	福島県商工会連合会 会長
鈴木淳一	福島県教育委員会 教育長
橋本正典	福島県農業協同組合中央会 常務理事
畠 利行	福島県信用保証協会 会長
松本 順	(株) みちのりホールディングス 代表取締役グループCEO
諸永裕一	経済産業省 福島新産業・雇用創出推進室 室長
山下 治	福島工業高等専門学校 校長

## <参与>

大山健太郎	アイリスグループ 会長
清野 智	(独) 国際観光振興機構 理事長
瀬谷俊雄	(株) 東邦銀行 相談役
蛭田史郎	旭化成(株) 相談役

